

パネルディスカッション2：薬剤師にどこまで任せてもらえるか

演題名	薬剤師にどこまで任せるか～長崎での実践を通して～
------------	--------------------------

概要

2003年3月、主に長崎市内で在宅医療に興味を持っている医師13名があつまり、長崎在宅Dr. ネット（以下ドクターネット）を発足した。在宅医療を専門にする医療機関ではなく、外来診療や有床診療所などを運営している普通の開業医で在宅医療もする医師の集まりである。一開業医が負担なく在宅医療ができる仲間、システム作りを行った。2003年以降地道な活動で、多職種に周知され、多職種連携が構築されてきた。薬剤師との連携も、徐々にではあるが、構築されてきた。加えて、長崎市内の薬剤師の集まりで、我々ドクターネットの受け皿として、P-ネットという組織も長崎にはある。現在までに、十数人の訪問薬剤指導をお願いする薬剤師さんと関わりを持った。色々な薬剤師さんとの関係の中で、良かった点、悪かった点を実際の症例も紹介しながら、今回のテーマである、薬剤師にどこまで任せてもらえるかを皆さんで考えていきたいと共に、今後の在宅医療のさらなる推進のための方策も一緒に考えていきたい。